

平成16年3月期 第1四半期業績の概要(連結) 平成15年8月15日
上場会社名 ラオックス株式会社 (コード番号: 8202 東証第2部)
(URL <http://www.laox.co.jp>)
代表者名 代表取締役社長 谷口好市
問合せ先 取締役 常務執行役員 経理・財務統轄部長 島田嘉夫
(TEL:(03)5297-3830)

1. 四半期業績の概況の作成等に係わる事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 売上高 (百万円未満切捨)

	百万円	%
平成16年3月期第1四半期	36,485	(-)
平成15年3月期第1四半期	-	(-)
(参考)平成15年3月期実績	167,871	

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。
当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績
およびその増減率につきましては記載しておりません。
売上高の数値は、監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期(平成15年4月1日~平成15年6月30日)における売上高につきましては、冷蔵庫や洗濯機・クリーナーなどの生活家電品が底堅い実績を残し、また、エアコンを中心にした季節商品も早期の拡販策により前年実績を上回りました。反面、雇用情勢の悪化などを背景とした個人消費の冷え込み、SARS(新型肺炎)問題による外国人ツーリストの免税品購入額の激減、パソコンの需要低迷、など厳しい状況が続き、昨年のワールドカップサッカー特需による映像機器などの反動減を含めて、全体では売上目標を下回る厳しい結果となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はございません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（1）中間連結業績予想の修正（平成15年4月1日～平成15年9月30日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想（A）	74,800	460	780
前回発表予想（B）	82,800	510	175
増減額（A - B）	8,000	970	955
増減率（％）	9.7	-	-
（ご参考） 前期実績（平成14年9月30日）	82,588	982	1,271

（2）通期連結業績予想の修正（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想（A）	163,000	1,330	645
前回発表予想（B）	171,000	2,300	1,600
増減額（A - B）	8,000	970	955
増減率（％）	4.7	42.2	59.7
（ご参考） 前期実績（平成15年3月31日）	167,871	1,664	3,452

（参考）1株当たり予想当期純利益 19円55銭

（3）修正の理由

経費削減に関しては、目標を超える具現化が進行中ですが、当第1四半期における売上高の未達、ならびに7月切の長梅雨・冷夏の影響によるエアコンの実績低迷の影響により、前回発表の通期業績予想が達成困難となる可能性があるかと判断いたしましたので、業績予想を修正いたします。

第2四半期以降は、いわゆるパソコンリサイクル法の施行によるPC本体の前倒し需要が顕在化し、地上デジタル放送開始による映像機器の拡販も予想されています。

また、エアコンは8月には回復しており、SARS問題も沈静化して、免税品売上も復調傾向にあります。

今後は、既存店舗の更なる活性化策の推進、中古パソコン販売の体制強化、インターネット通販部門の充実、テレビ宣伝の復活による価格も安いという当社イメージの訴求、などにより売上拡大策を深耕させて参ります。経費面では、成果主義の導入による社員モラルの向上と人件費の変動費化が促進されて行くのと同時に、更なる人員削減に着手し、労働分配率を引き下げるほか、全経費を抑制して行き、修正目標を必達させる所存です。

(参考)平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(1)中間期個別業績予想の修正(平成15年4月1日~平成15年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	71,300	370	770
前回発表予想(B)	78,700	300	87
増減額(A-B)	7,400	670	683
増減率(%)	9.4	-	-
(ご参考) 前期実績(平成14年9月30日)	78,730	711	977

(2)通期個別業績予想の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	155,600	730	57
前回発表予想(B)	163,000	1,400	740
増減額(A-B)	7,400	670	683
増減率(%)	4.5	47.9	92.3
(ご参考) 前期実績(平成15年3月31日)	159,424	1,512	3,465

(参考)1株当たり予想当期純利益 1円73銭

(3)個別業績予想修正の理由

連結業績予想に記載の通りであります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上